

“修練と絆”…“絆と連帯”

連盟本部主催 「制定刀法・公認審判」講習会

剣道場



集合写真/保泉正夫
スナップ/小林克巳
専属カメラマン
事務局(提供)

…◆次代を担う各県各支部精鋭選手の雄姿◆…
連盟“制定刀法・公認審判”伝達講習会
一般財団法人 日本抜刀道連盟
2017年5月4日 於：神奈川県立武道館

◆参加者◆

…本部役員 (11名)

大江会長・中島副会長・中世古相談役。
大塚教務部長・菅野事務局長。
遠藤教務次長・藤田教務次長。
境 教務部員・小林事務部員。
佐藤監査・総スタッフ:保泉専属カメラマン。

…支部参加者 (35名)

武蔵会支部：平川政博・城谷光俊・猪熊武士。
鎌倉支部：斎藤亨一・小林昭夫・本田 彰。
川崎支部：高橋道夫・石橋 巖・田村 悟
飯田敏晃・巧刀一好。
山形支部：佐藤淳一・軽部慎也・新関勇樹。
英信館支部：山口 博。笠間支部：浦井一彦。
埼玉支部：関原 勝・岩崎 進・水村光治
柏保和夫。聖心塾：赤星新一。
東京道場：柴田輝久・横山慎平。
笠間支部：浦井一彦。福岡支部：橋本 一。
秩父興心館：野口常男。秩父支部：野村寛一。
東京英信会：大塚晋二。尚武館：伊藤 勉。
和道会：ベンジャミン。

講習会は順調に進み午前は大塚教務部長の教本に基づく実技解説による「制定刀法」の座学。午後は「段別制定実技」の修練が教務部、遠藤範士八段・藤田教士七段、また高知県から駆けつけた、境錬士七段そして、山形の佐藤教士七段と、福岡の橋本教士七段が講師陣となつて熱気ある研修を行った。

引き続き「公認審判の実技研修」では「審判要点」の目付。審判実技と評価」と、中島副会長・大塚教務部長との連携講師による中身の濃い「ベシッ」とした講習展開となった。

なお、本講習会の進行司会は、事務局連絡を含め大会会場・研修会場の確保に奔走する菅野事務局長が努めた。



新緑若葉に映える去る五月四日の大型連休の真只中…。平成二十九年度事業計画に基づく「制定刀法・公認審判」伝達講習会が、神奈川県立武道館にて盛大に開催された。

講習会開会に先立ち、大江連盟会長は連帯であるにもかかわらず、皆さんの熱心な講習参加に頭が下がる。本連盟も一般財団として注目される存在となり、我々はその名に恥じない様に頑張らなくてはならない。そして本日のこの講習会で得たものを、ぜひ大会に生かしてほしいと激励の挨拶があった。



◆ 次代を担う各県各支部の精鋭選手 ↑
◆ 制定教本に忠実に実技の範を示す大塚教務部長 ↓



◆ 一般財団としての心得を説き ↑
激励挨拶をする大江連盟会長と講師陣



【制定刀法 座学
& 実技研修】

【段別 実技指導研修】



◆ 段別個人指導 ◆ 熱気ある境 講師の指導に
真剣に取り組む精鋭選手陣 ↑



…編集◆後記…

- ◆ 時の流れは実に早い…、あつと言う間に今年も5月の大型連休を迎えた…。しかし、関東を中心に南は福岡・高知と、北は山形と本部役員を含めて46名が参加した盛んな講習会であった。
- ◆ 講師は、大塚教務部長以下、教務部員を中心に福岡・山形の応援を得て展開され、講師陣の熱心な指導がおこなわれた…。
- ◆ 講習会はam10:00～pm15:40に終了したが遠方からの選手が帰省した後、次の人が気持ちよく使用出来る様にと、完璧に会場の後始末をする、藤田教務次長ならびに準備委員の姿に頭が下がった…。



副会長 兼 広報部長
中島 正夫

◆ 正に、開会挨拶の中で、大江連盟会長が言われる様に一般財団として躍進し、その反面、何かにつけ武道界からは注目されており財団としての《心得を実行する姿》に感動し、私も爽やかな気持ちで胸中に帰路についた…。



◆ 失敗を恐れず《審判の眼》を修得する ◆
今回の審判講習は、審判を初体験する五段の選手を中心に進められ冒頭、中島副会長から審判の見る眼が正確であっても、最終判定は、審判旗の紅白の旗上げで決まる。つまり、制定刀法が《互格の武士同士真剣勝負》を意識した刀法所作と「抜刀道は捲藁を斬る武道」との認識程度は無意識で行う所作とは、うんでの差があると同様に、公認審判が最終判定する《審判旗の上げ下げには《メリハリ》が最も重要である。

自分が判定する審判旗の「一刀により《選手が育つ》との《入魂一刀》の気持ちと意識で判定して戴きたいと力説された。審判講習は、審判の眼の養成と共に失敗を恐れずにと関連に展開された。